

会員数 59名
欠席者

出席者41名・欠席者15名・免除会員7名

麻田・後藤・和泉享・岸上・松山・加内・中野和・中野昌・飯間
大山・曾川・谷本・山下・横田・会員

前々回出席率 74.5%(7/21)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 和泉 清憲
幹 事 細谷 誠
会報委員長 大西 信亮

お知らせ

8月のプログラム

4 (No.1)-クラブフォーラム
11 (No.2)-休会
18 (No.3)-60周年特別委員会
25 (No.4)-クラブフォーラム

ニコニコBOX;

よいことがありました

秋山憲夫君

一月終わりました

和泉清憲君

8月より会員紹介が始まりました

週報を楽しみにご覧ください

大西信亮君

<ニコニコ会計累積/¥88,000>

がんばるBOX;

4年連続100%出席で記念品を

頂きました。5年連続目指します

古川君

100%出席

富田君

クラブフォーラムを終えて

夏見君

<がんばる会計累積/¥42,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3

丸亀プラザホテル内

■会長挨拶

移植をもうあきらめざるを得なくなった彼は、自分に合った透析を探し続ける「透析難民」となりました。彼曰く(医療関係者の方や、透析に詳しい方がいたらスママセン、私の個人的な印象が多分に含まれています)透析は個人差が大きく、都会では透析にかかる時間も様々で、夕方から翌朝まで10時間近くかけてゆっくり行う病院もあるとのこと。仕事帰りに病院へ行き、朝、病院から会社に行くような方法も可能なようです。香川では当時どの病院もほぼ3時間で透析を行っていました。一時期は自身が自宅で透析を行う腹膜透析をしていたのですが断念、自分に合った透析をしてくれる病院を探し、先生と納得いくまでとことん話をする彼でしたので、意見が合わず喧嘩をして病院を渡り歩くようになり、「難民」となったわけです。

自身の移植はほぼあきらめていたのですが、透析で苦しんでいる同じような境遇の方を救うべく、次は修復腎移植の原告団の一員となり活動をはじめました。そんな頃、その弁護士の紹介で、フジテレビの日曜夜10時からの情報番組のスタッフから修復腎移植の特集をするから取材をさせてほしいと彼に打診がありました。このことにも僕は反対したのですが、理由は、中国で移植を経験された方に批判が及ばないか、また自身の透析に至った経緯に対して彼自身が批判されはしないかです。彼はブログをしており、結果的には想定以上の批判が寄せられました。番組では最初に糖尿病になったところから中国で移植の失敗をして透析難民となる現在に至るまで、丁寧に再現ドラマを作成して放送してくれました。透析患者の過酷さ、修復腎移植が認められない悔しさを彼は淡々と訴えました。僕は番組の司会者であった滝川クリステルさんが取材に来てくれるのなら、取材を引き受けると言ったのですが、鼻で笑われました。見事に。僕は取材の中で、修復腎移植を認めないと言っている方々が理由に持ち出す法律や制度と、今助けられるかもわからない人間の命と、いったいどちらが大切なのかと長々と話したつもりでしたが、番組ではすっかりカットされていました。

取材から二年後、彼は消化管出血から亡くなってしまいました。ドラマで彼の役を熱演してくださった、コント赤信号の小宮さんからは、丁寧なお悔やみの言葉が送られてきました。その手紙は、「大丈夫、ちゃんと伝わっているから」と結ばれており、棺に添えてほしいと書かれていました。

人が人を思いやることでこの世の中は成り立っていると思います。政治やイデオロギーが違って本質は同じ、今、世界で起きていることに自分の無力さを感じずにはいられませんが、それは決して遠い国の出来事ではなく、今身近な自分にできる奉仕を行うことが、繋がっていくと信じています。本年度の八田ガバナーのスローガンは「変化をもたらす人になろう」です。彼がそうしたように、我々も伝えてみましょう。

■幹事報告

① 例会終了後、理事会を開催します。

② 来週の例会は休会になります。

③ 事務局は11日から16日まで休みにします。

④ 「丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座」講演会開催について

■理事会報告

①9月10月のプログラムについて

8/25 夜間例会10/27に延期のため→クラブフォーラム(プログラム)

9/1 クラブフォーラム(ローター情報) 9/8 クラブフォーラム(会報雑誌広報IT)

②小山会員の出席免除会員申請を受理

③塩田職業奉仕委員長より、職場例会の募集について

④会長より、クラブ計画書について

定款・細則が大きく変更され、この校正・確認のため

■例会事業;クラブフォーラム;会員増強退会防止委員会 夏見良宏委員

先週は森高会員から出席の話があり、国際ロータリーの方針が変わってきているのではないかという素晴らしい内容の深い話でした。国際ロータリーの方針を考慮すると、出席や職域のこだわりにどれだけの意味があるのかの疑問を感じたと思います。国際ロータリーの方向性が理解できなければ自分のクラブの方針で独自にやるところもあり、様々な考えが出てきて、過渡期にあるのではないかと思います。



東京ロータリー初代会長の米山氏は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っており、今なお各クラブで話されています。ロータリーの例会を通して学びや自己変革ができ、最も重要であるとのロジックだと思います。ロータリーの思想に興味を持つようになり、ロータリー思想の理論構造という小堀憲助の書籍を読みました。前半はロータリーに対する熱のこもった内容でしたが、根底にあるのは平和であると思いました。哲学や宗教とも繋がる場所もあり、興味深く読みました。

なぜ理想的なことから現実的な方向に変わってきたのかという話をしたいと思います。国際ロータリーは、1956年に40万人でした。1996年には120万人になり、21世紀になると会員数が下降し始めます。日本でも40%近く減っています。ここに方針が変わっていく原点があると考えます。もう一つの大きな問題は入会者数が大きく減っていることです。そこで、国際ロータリーも分析を始めました。社会は次の世代のミレニアム世代やZ世代が32%を超えているので、この人たちの意見を聞かなければ社会や組織は成り立たないのが現実で、大きなインパクトもたらす世代です。結論としては何かを変えていかなくてはならないということです。これまでのロータリーは目的を内々に言っていました。社会に対するビジョン声明を発し、持続可能な変化に向けて、お互いに手を取り合って行動することを目指すべきだということです。その流れで出てきたのが昨年のインドの会長で、これまでにはないプレゼンテーションを行いました。インドはこの会長時代に15万8000人から10年間に5万人増やしています。やがてインドは世界で一番の会員数になるでしょう。今年のジェニファージョーンズも同様のプレゼンテーションを行いいい印象を持ちました。1986年には、ロータリーに女性だから入会できないという流れからカリフォルニア州の裁判で女性が入会できるようになりました。ロータリアンは先進的な考えを持っているといわれていますが実は保守的なところが多いです。日本でも今でも女性会員を拒んでいるところもあります。長時間の会議が多いなど女性が参加しにくい環境もあります。セクハラやパワハラがまだまだあることを認識しなければなりません。実際に明石で女性に対するセクハラ行為が記事に出ました。R1第3地域戦略計画セミナーでは、基調講演で危機管理問題への認識と理解の中で、ハラスメントは現実的にあるし消しは通用しないことが語られました。虐待やハラスメントは72時間以内にRIIに報告するルールができました。ガバナーなどによる緊急会議が開催されます。もし事業で行われた場合はクラブの活動も終結されます。社会は大きく変わっています。次の世代に向けて我々も考えていかなくてはやがては尻すぼみの会になっていくでしょう。

■会員自己紹介

丸亀ロータリークラブ第60年度幹事

細谷 誠(ほそたにまこと)

会社名:大西食品株式会社

事業内容:香川県の郷土料理「しょうゆ豆」の製造販売

(ちょっとはまったこと)

大学一年の時、喫茶店でのブロック崩しにハマリ「ブロック崩しの鬼」とさえ呼ばれました。しかし、次のブームであるインベーダーゲームでは資金難からついて行けず、以来テレビゲームからは足を洗いました。

